

市町村名	南大東村						
令和4年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	循環型農業推進事業(土壌改良材製造施設整備事業)			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ア	
担当部署名	産業課	事業実施(予定)年度	R4-R6年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水位産業の振興	
事業内容	島内での土壌改良材の自製を可能とし、現在堆肥の投入が行われていない農場へ散布することで、農業生産性の向上を図る。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和9年度)						
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R3年度	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	85800	182,160	0	0	0
		(b)予算現額	88715	201,850	0	0	0
		(c)増減額(b-a)	2,915	19,690	0	0	0
		(d)繰越額					
	A.計(b+d)	88,715	201,850	185,430	0	0	
	B.執行済額	85,800	16,225	185,430	0	0	
	うち交付金充当額	68,640	12,980	148,343	0	0	
	次年度繰越額		185,430		0		
	執行率(%) (B/A)	96.7%	8.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	R4年度当初予算では、土壌改良資材製造施設整備基本設計及び土壌改良資材基本設計・水陸両用パワーショベル・8t深ダンプ等の備品購入として、201,655千円計上したが、備品購入費(185,430千円)においては新型コロナ等の影響により部品等の製造に遅延が生じ翌年度へ繰越となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	・実証試験(試料製造・分析等) ・土壌改良剤製造施設の基本設計	目標			・実証試験の実施 ・基本設計の実施		
		実績			完了		
	・機器整備(備品購入)	目標		水草除去装置1基及び木材破砕機一式整備	機器整備(備品購入)		
		実績		完了	完了		
達成状況説明	土壌改良資材製造施設整備基本設計及び土壌改良資材基本設計においては年度内にて完了したが、機器整備(備品購入)においては新型コロナ等の影響に伴い、製作及び各部品等の調達に遅れが生じたため、翌年度へ繰越して実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R9年度)
	土壌改良資材の実証試験及び施設の基本設計。	目標	()	()	()	(設計完了)	()
		実績				完了	
	自然池の汚泥等混合による実態調査。	目標	()	()	()	(調査完了)	()
		実績				完了	
	サトウキビ生産量5%増	目標	()	()	()	()	(5%増)
		実績					
	進捗状況説明	土壌改良資材製造施設整備基本設計及び土壌改良資材基本設計においては年度内にて完了したが、機器整備(備品購入)においては新型コロナ等の影響に伴い、製作及び各部品等の調達に遅れが生じたため、翌年度へ繰越して実施して完了となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・自然池に繁殖する大量の水生植物が、自然池一面に覆い被さっており、それらを除去する機器が整備されたことにより定期的な除去に努めていく必要がある。又、除去した水生植物を土壌改良資材として積極的に活用する取組が必要となる。	自然池に繁殖している水生植物を、定期的に除去を実施することで自然池の環境保全が図れ又、土壌改良資材として製造及び活用することで農業生産の振興につなげていける。
今後の取り組み方針		
令和6年度以降は土壌改良材施設を整備することにより、除去した水生植物及び倒木等を木材チップにした資材も活用した良質の堆肥製造を行い、ほ場等に還元し活用することで農業振興の発展に向けた取組を行う。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位: 千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
201,655	201,655	161,323	40,332	0

南大東村

201, 655千円

備品購入費

185, 430千円

オノデラ製作所株式会社

165, 880千円

19, 550千円

計185, 430千円

水陸両用パワーショベル一式購入

8t深ダンプ(1台)購入

委託料

16, 225千円

(株)総合設計玉城

5, 225千円

土壌改良材製造施設基本設計

沖縄農業技術開発株式会社

11, 000千円

土壌改良材実態調査

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は見積入札により実施し、備品購入においては取扱っている事業者が1者のみであるため妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模内容及び費用・目的は事業に見合った内容であると考え、必要不可欠であるため適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なもののなか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。

市町村名	南大東村							
令和4年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	5-①	大池周辺自然観察施設整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(2)-ア		
担当部署名	教育委員会	事業実施 (予定)年度	R3-R4年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	生物多様性の保全 Ⅲ-10-(1)		
事業内容	天然記念物である「大池のオヒルギ群落」等の野生動植物が生息する特有の自然環境を活用するため、自然観察施設を整備する。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(R6年度)							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R4年度(繰越)	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額			75,302	25,385	25,385	
		(b)予算現額			78,613	25,385	25,385	
		(c)増減額(b-a)	0	0	3,311	0	0	
		(d)繰越額					25,385	
		A.計(b+d)	0	0	78,613	25,385	50,770	
	B.執行済額				78,613	0	23,419	
	うち交付金充当額				60,241	0	18,735	
	次年度繰越額					25,385		
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	0.0%	46.1%	
予算の状況の説明		令和4年度の当初予算は25,385千円で計上したが、設計業務において、細部の調整に想定以上に日数と時間を要し、それに伴い監理業務及び工事も遅延が生じたため令和5年度へ全額繰越となった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	・浮桟橋設計業務 ・監理業務	目 標				実施	実施	
		実 績				完了	完了	
	・建築工事	目 標					実施	
		実 績					完了	
達成状況説明	設計業務の細部の調整に想定以上に日数と時間を要し、それに伴い監理業務及び建築工事も遅延が生じたため、令和5年度へ全額繰越、3月末をもって終了した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)			基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (R6年度)
	・浮桟橋設計業務完了 ・監理業務完了	目 標	()	()	(完了)	(完了)	()	
		実 績				完了	完了	
	建築工事完了	目 標	()	()	()	(完了)	()	
		実 績					完了	
	【R6成果目標】 環境保全を図ると共に島内観光客数の増を5%以上。	目 標	()	()	()	()	(5%以上)	
		実 績						
進捗状況説明	【自然観察施設(浮桟橋)】 令和6年3月末で完了し同年4月より供用開始している。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	浮棧橋施設を整備することにより、自然観察及び学習をとおして後世に伝えると共に、新たな観光資源としての機能を図りながら、住民及び観光客の憩いの場所としても活用していく。	南大東島特有の動植物や島外から飛来する渡り鳥等の自然を観察するポイントとしては最適であり、それらの貴重な自然観察を通し、学習することで環境保全を図りながら、新たな観光スポットとして観光客の誘致を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
浮棧橋を整備したことによりカヌー体験及び憩いの場所としても提供し、機能強化を図りながら自然観察と観光客の誘致に向けた取組を行っていく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>23,419</td><td>23,419</td><td>18,735</td><td>4,684</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	23,419	23,419	18,735	4,684	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
23,419	23,419	18,735	4,684	0										
南大東村 23, 419千円 委託料 4, 169千円 （株）環境設計国建 4, 169千円 大池浮棧橋設計・監理業務 工事請負費 19, 250千円 有限会社金城重機土木 19, 250千円 大池浮棧橋設置・工事														
資金使途の流れ、検・費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○設計業務及び監理業務は見積入札とした。設計業務を選定した業者が監理業務を適正に行えると判断し妥当であると考え。又、整備工事は指名競争入札により妥当であったと考える。 ○予算規模内容及び費用・目的は事業に見合った内容であり、事業目的に必要な不可欠な経費である。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なもののなか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												